

このたびはMOTO-COMの《LOWDOWN KIT》をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書をよくお読みになり理解した上で 取り付けにかかってください。
もしわからない所がございましたら 電話番号078-707-8074までご連絡下さい。
説明いたします。

けって理解できないままに組んでしまうことのないようお願いいたします。

【ご注意】

LOWDOWN KITで3または5センチ車高を下げたということは
>>バイクの最低地上高が3または5センチ下がった<<
ということです。これは必然的に

バンク角が大幅に少なくなっている

マフラー(サイレンサー)等も大変こすりやすくなっています。
ですから くれぐれもコーナリングには最大の注意のうえライディングして下さい。

あなたの命はあなたのスロットルワークにかかっています

説明は 手順／(M8)←使っているネジ／！～！注意事項／で表しています。

では取り付けにかかりましょう。

- ①前後マフラーのヒートシールドを外します。
(M6キャップボルト × 2)
！ 留めバンドのカマボコ型ピースを外してしまうと分解しやすい。！
！ 外したシールドはキズを付けないように置きましょう。
- ②前後エキパイをシリンダーヘッドに取り付けているボルトを外します。
(M8キャップボルト ステンレス製 × 2)
- ③マフラー部をマウントに留めているネジを外します。
！ マフラーとエキパイは分解しない。！
前 (M8キャップボルト 黒色 × 2)
後 (M8ナット 黒色 × 1)
- ④マフラーとエキパイを車体から外します。
！ マフラーを落としてクラッチカバーにキズを付けないよう
クラッチカバーとエキパイの間にウエスをはさんでおきましょう。！
- ⑤右サイドカバーを外します。！ 前が引っ掛けタイプ！
- ⑥右サイド 工具入れ(黒色プラスチック)を外します。
" まず、フタを外します。(＋ビス3個)
" 本体を外します。(M6 ボルト 黒色 × 4)

！ サイドカバーを付ける時の
ステーの位置と角度を覚えておいて下さい。！
これで右側は終わりです。



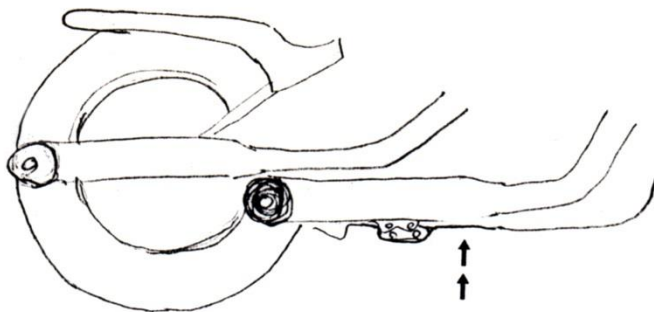
⑦左サイドカバーを外します。！前が引っ掛けタイプ！
(+ビス ×1)

⑧左ツールボックスを外します。
(M6ボルト ×2)

⑨レギュレーターを外して“ぷら～ん”と垂らしておきます。
！配線は外さなくてOK！
(M6×20 ボルト 黒色 ×2)
これで左側も終わりです。

⑩ジャッキを架けてバイクの後ろを持ち上げます。[図1]の位置

[図1]



⑪ショックのリンクを外します。
(M12ボルト 長(上用) ×1)
(M12ボルト 短(下用) ×1)
！左へボルトを抜くとコの字リンクが外せます。！

⑫コの字リンクからダストシールを外します。
(ダストシール ×2 、 芯のパイプ ×1)
！この3点は再使用します。ゴミ・汚れをよく拭き取っておきます。！

◆◆さあここで LOWDOWN KITの出番です。◆◆

⑬LOWDOWN KITのベアリングにグリスを詰めます。

⑭先程 外しておいたダストシールを組み込みます。

⑮芯のパイプを差し込みます。
！ゴミがつかないように置いておきます。！

◆ショックユニットを外してバネレートを変更しましょう。◆

⑯ショックのボルトの上下を外し車体から取り出します。

⑰バネレートアジャスターを最も固い(7)にあわせませ。
！アジャストした後に取り付けボルトの穴を整列させておきます。！

スイングアームの泥よけを外します (M6ボルト 4個)
！ひっかけレンチを工夫すれば取り出さずに出来るかも！

+2ドライバー

8mmソケット

10mmソケット

パンタグラフジャッキ
×2

17mmソケット ×2
エクステンション
17mmメガネ

マイナスドライバー

手とグリス

手

手

17mmソケット ×2

ひっかけレンチ
(45～50用)

10mmソケット

◆◆アジャスターを(7)にしたことを確認したら組み立てにかかりましょう。

⑱ショックを車体に戻します。！上下に注意！

(M12ボルト × 2)

⑲先程組み立てたLOWDOWN KITを車体に組み込みます。

(M12ボルト 長(上用) >> [図2]参照

(M12ボルト 短(下用)

LOWDOWN KITの

一番遠い穴 → 5cmダウン

中央の穴 → 3cmダウン

一番近い穴 → ストック状態(純正の長さ)です。

3センチと5センチの組み換えは

下のボルト一本の分解で組換できますが

ストックの長さに組み立てるには

ボルト2本を分解してKITの裏表を入れ替えます。



[図2]

⑳泥よけを車体に戻します。(M6ボルト × 4)

㉑右側工具入れ本体を組み付けます。(M6ボルト 黒色 × 4)

㉒右側工具入れふたを組み付けます。(+ビス 黒色 × 3)

㉓右側サイドカバーを組み付けます。前がひっかけタイプ

㉔エキゾーストガasketを忘れないようにして

後のマフラーを車体に付けてネジを仮どめします。

ボルトはすべて[手締めで]組み込んでしまいます。

(M8袋ナット × 1 ・ M8ステンレスキャップボルト × 2)

㉕前のマフラーを車体に付けてネジを仮どめします。

ボルトはすべて[手締めで]組み込んでしまいます。

(M8キャップボルト 黒色 × 2)

㉖両方のマフラーを手締めで組めたら

エキパイの8mmステンレスキャップボルトをしっかり締め付けます。

次にマフラーを車体にとめているボルト・ナットを確実に締め付けます。

マフラーヒートシールドを取り付けます。

！留めバンドのピースは

先にシールドへ引っ掛けておくと組みやすい！

●右側の今回さわったネジ・ボルトについて

再チェックをしたら 右側は終わりです。●

㉗左側へまわって レギュレーター・のネジをとめましょう。

(M6 × 20 黒色ボルト × 2)

㉘左側ツールボックスを取り付けます。(M6ボルト × 2)

㉙左側サイドカバーを取り付けます。！前が引っ掛けタイプ！

+2ドライバー

17mmソケット × 2
エクステンション
17mmメガネ

10mmソケット

8mmソケット

+2ドライバー

メインキー

12mmソケット
6mm Lレンチ

12mmソケット

5mm Lレンチ

10mmソケット

8mmソケット

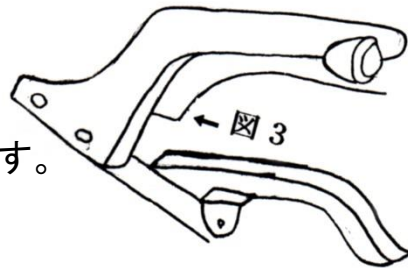
+2ドライバー

●左側の今回さわったネジ・ボルトについて
再チェックしたら 左側はおわりです。●

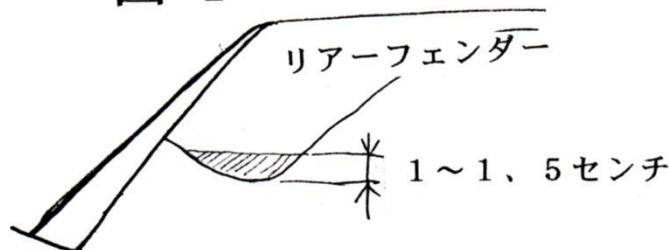
◆バルカンⅡ400・800 / 900に
[5センチダウン]で組み込まれる場合には
次の追加加工 [Ⅰ],[Ⅱ],[Ⅲ],[Ⅳ]がすべて必要です。

◆バルカンⅡ400・800 / 900に
3センチダウンで組み込まれる場合には次の追加加工 [Ⅲ],[Ⅳ]が必要です。
バルカン クラシックには追加加工は必要ありません。

[Ⅰ]リアーフエンダーの左下[図3]が
チェーンガードに当たりますので
[図4]のように
1~1.5センチカットする必要があります。
ハンドグラインダーが適当でしょう。
削った痕は錆びないようにペイントで
タッチアップして下さい。 図 4

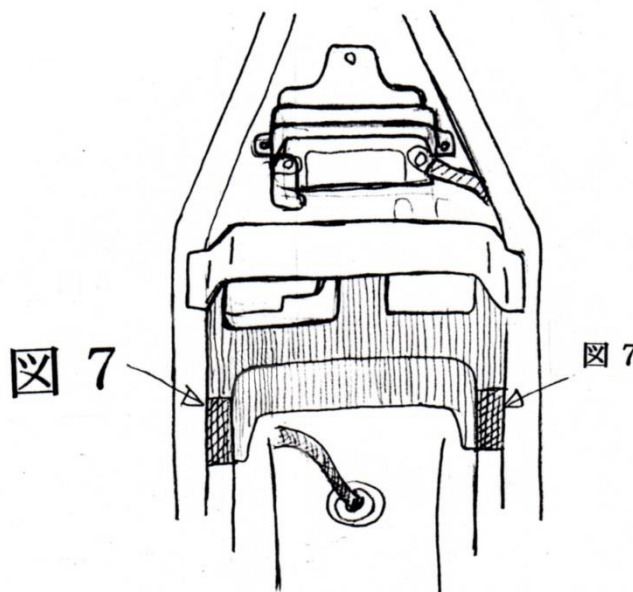
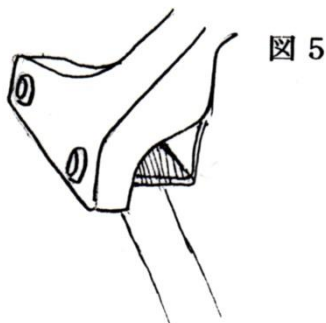


ハンド
グラインダー



[Ⅱ]スイングアームとバッテリーケース横の
泥よけ部分[図5]が干渉します。
シートを外すと[図6]のようになっていて
[図7]のように切り取る必要があります。 図 6
切り取るにはリユーターやヒートカッターが
使えます。

リユーター
又は
ヒートカッター



[Ⅲ]テールランプの配線が
 タイヤにこすられて
 切れることがありますので
 引き回しを変更します。
 シートを外すと[図6-2]
 のようになっています。
 泥よけの(図8)の部分
 をリユーターで四角く切りぬきます。
 四角のサイズはフェンダー裏
 テールランプの
 配線ソケットが通ればOKです。
 引き直した配線がタイヤに
 擦られないように
 固定して下さい。

[図6-2]

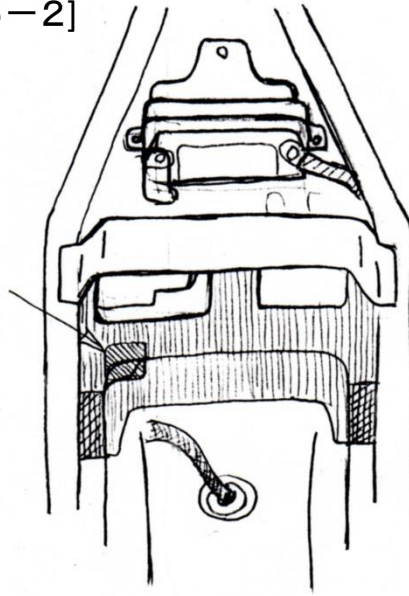


図8

[Ⅳ]工場ではバルカンを組み立てた時の締め付けのズレで
 リアフェンダーが下がり加減に組まれている場合があります。
 フェンダーレールを車体に留めている
 M8キャップボルト[図9]を一度ゆるめて
 リアフェンダー後部を持ち上げながら
 しっかり締めなおします。
 これでチェーンガードとの間が
 6mm程変わります。

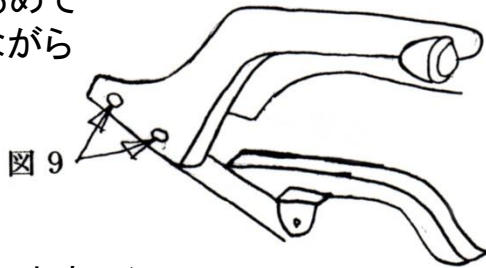


図9

6mm Lレンチ

+2ドライバー

◆最後にヘッドライトの光軸を合わせます。◆

- ・ヘッドライトリムの(時計でいうと10時の位置)にある
 +ビスを左に回して調整します。
- ・ロービームで点灯し5m先でライトの明暗の境目が
 地上高80cmになるように合わせます。

以上でMoto-Comの“LOWDOWN KIT”の取り付けは終わりました。
 バイクにつけたあなたの指紋をきれいに拭き取って完了です。

かさねてお願い!

くれぐれもバンク角がすくなくなっていますので 慎重な運転をおねがいたします。

MOTO-COMのオリジナルパーツと提供したサービスには
 “生産物賠償責任保険”がついています。

神戸市垂水区名谷町入野777 モト・コムビル
 MOTO-COM 代表者:中山 孝志